

手づくりビオトープをつくろう!!



手づくりビオトープとは

住宅の庭、軒先、ベランダや、事業所の外構、屋上等 の小さくて狭いスペースでも、生きものの暮らす場所 (ビオトープ) を手づくりすることができます。この ような取組を文京区生物多様性地域戦略では"手づくり ビオトープ"と呼んでいます。"手づくりビオトープ"は、 鉢で植物を育てたり、小さな池を作ったりすることで、 生きものの居場所となる空間を少しずつ作り出すこと ができます。"手づくりビオトープ"の一つ一つは小さく ても、区内で多くの人々が取り組んでいくことで個々の "手づくりビオトープ"がつながれば、生きものにとって より暮らしやすい環境になると考えられます。



教育センターに設置した手づくりビオトープ

手づくりビオトープのポイント

生きものによって好む環境や食べ物等が異なることから、利用してもらいたい生きものの特 性に応じて、"手づくりビオトープ"の作り方を工夫することが考えられます。"手づくりビオ トープ"のポイントを以下に示します。

手づくりビオトープのポイント

食べ物をつくる

■花の蜜

・蜜の出る花を植え ることで チョウ 等が吸いに来るよう になります。



■実

果実のなる植物を 植えることで、鳥 等が食べに来るよう になります。



■バッタの食草

バッタが好むイネ科 等の植物を植えるこ とで、棲み着くように なります。



■チョウの食草

ナミアゲハの幼虫は ミカン科の植物を、 モンシロチョウの 幼虫はアブラナ科 の植物を食べます。



休む場所をつくる

■止まり木 止まり木を作ると 鳥が羽を休めに来る ようになります。



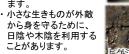
■隙間

・石等で隙間を作ると 夜行性のヤモリ等が昼 間に隠れて休んだり、 越冬する生きものが寒 さを凌ぐために潜り込 んだりすることができます



■日陰・木陰

夏の日中は暑いので、 日陰や木陰があると、 暑さを凌ぐことができ





■水辺の植物

■水たまり

すくなります。

水たまりではカの幼虫

(ボウフラ) が発生す ることがありますが、 ボウフラを食べるメダ

カを入れることで、カ

の発生が抑えられます

水辺のまわりに植物を植えると、木陰ができて、夏の水温上昇を抑え、生きものにや さしい空間になります。

水辺をつくる

・なるべく水を多く入れると、水温や水質の

変化が少なくなり、生きものが棲み着きや

・水面に接した植物等があると、トンボのヤ ゴが羽化して成虫になりやすくなります。





卵を産める場所をつくる

■食苗

・チョウは、幼虫の食草を匂い等で探し 出して、そこに卵を産みます。

■水辺まわりの空間

トンボは飛びながら水の 中に卵を産むので、水辺 の上の空間が広いと産卵 がしやすくなります。

■柔らかい土

・バッタ等の昆虫類の多 くは柔らかい土の中に 卵を産みます。

■隙間

・ヤモリやニホンカナ ヘビ等は石や壁、木 片等の隙間に卵を産 みます。



手づくりビオトープにやってきやすい生きもの

- その地域にもともと棲んでいる
- 長い距離を移動できる
- 段差や道路を乗り越えられる
- ・警戒心が強くない







